

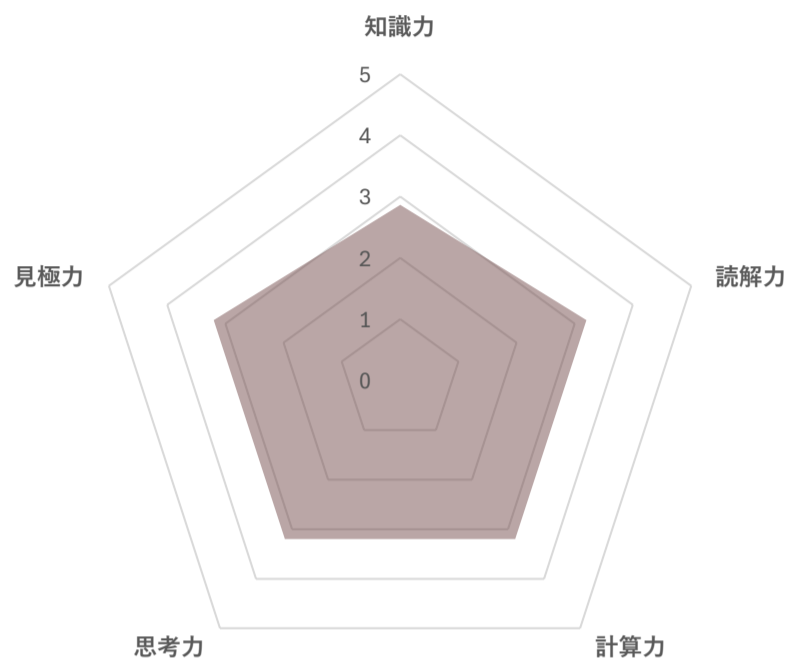
## 総合分析

試験区分 一般（前期）

制限時間 60分（理科2科120分）

大問数 全3問

## 合格に要する能力（5段階）



## 合格に要する能力（5段階）

知識力	2.7	物質，反応，解法の知識
読解力	3.0	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	3.0	手際よく正確に計算できるか
思考力	3.0	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	3.0	解きやすい問題を選択する力

## 出題分野

理論	67%
無機	0%
有機	33%

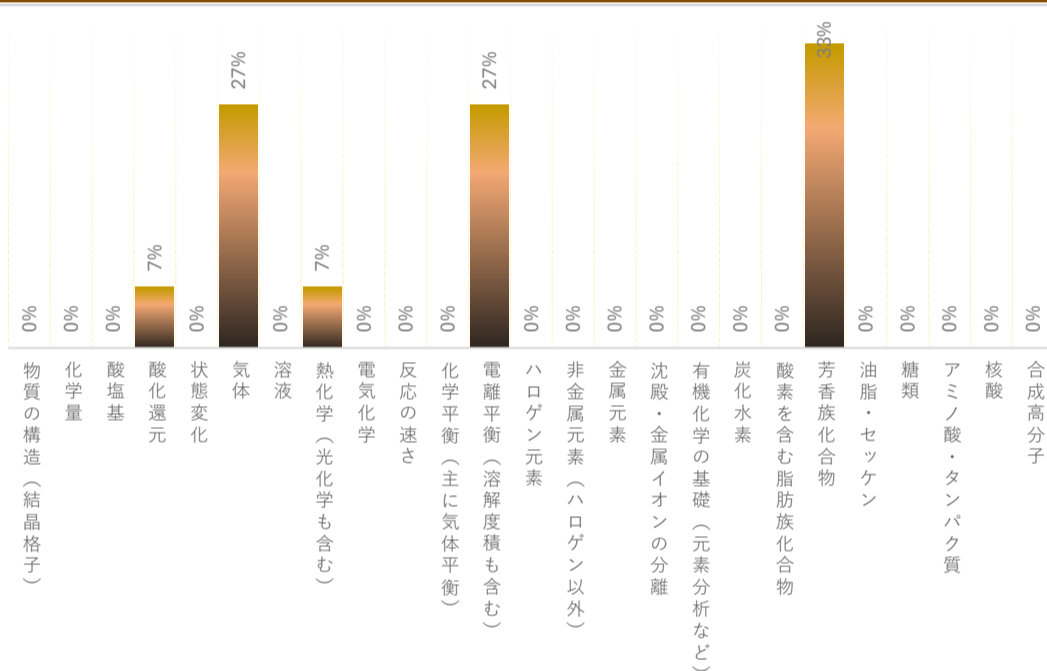
## 本年度 解答形式

論述 67%	答えのみ 記述 33%
--------	----------------

## 本年度出題テーマ一覧

第1問	溶解度積，DO
第2問	気体反応の量的関係，熱化学
第3問	芳香族化合物の構造決定

## 本年度 出題詳細分類



特殊問題の有無

数値計算あり

グラフなし

正誤問題なし

理由記述あり

図表なし

特記事項

特になし

## 総合評価

難度	2.9	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	67%
分量	60分	完答に要する時間（制限時間は60分）	標準	標準	

入試の特徴と対策

強い特徴や偏りがないバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。

入試から見る  
大学が求める学生像

典型的な論点の解法を知る一定量の学習量と，問題文に乗って考えられる読解力を持つ生徒。